

あなたのクラスで  
やってみませんか!

ユニセフの

# 開発のための教育



やってみましたアクティビティ

## 平和と対立、対立とその解決方法を考える

T・NET通信20号で紹介した「平和ってなあに？対立ってなあに？」を神奈川県川崎市立川崎総合科学高校の川崎操先生が実践された報告をいただきましたのでご紹介します。そのような朝日新聞と東京新聞にも掲載されました。

### アクティビティのすすめかた

#### ステップ1 平和と対立を考えよう

- ① 5人グループで、20枚の絵のコピーを「平和をあらわす絵」と「対立をあらわす絵」のどちらかに分類しながら10枚にしぼる。
- ② なぜそのように分類したか、その話し合いの過程を発表する。
- ③ 話し合いの過程をふまえた「平和」と「対立」についての定義を、各グループで考えて発表する。(20枚の絵はT・NET通信20号に掲載しています)

#### ステップ2 写真から情報を読み取ろう

パレスチナとイスラエルの国旗におおわれた棺の並んだ写真(この写真は対立で子どもをなくした双方の親たちでつくられた団体が、2002年3月19日に国連本部前の広場で行った平和をよびかける行動。著作権の都合で掲載不可)を見せて、

- ① 「平和」と「対立」のどちらの写真か話し合い、発表する。
- ② 写真の解説を配る。
- ③ 各自、解説を読んだあと、5W1H(いつ、どこで、誰が、何を、なぜ、どのように)で、写真から浮かぶ疑問と、解説に加えたいことをメモ用紙に記入する。
- ④ (疑問と、解説に加えたいことを)発表する。

### このアクティビティをやってみて…実施報告

#### ステップ2の③「写真と解説を読んだあとの疑問」で出た意見

- ・子どもをなくした双方の親たちは仲がいいのか?
- ・何人での棺をならべたのだろう?
- ・このパフォーマンスでの成果はどうだったのだろう?
- ・国連の反応はどうだったのだろう?

#### ステップ2の③「写真と解説を読んだあとに加えたいこと」で出た意見。考えてみれば、「疑問」と「加えたいこと」が重なるのは自然なりゆきでした。

- ・対立をなくすことに役立ったのか。
- ・何が原因で衝突が起きたのか。
- ・現在のイスラエルとパレスチナのようす。
- ・この棺はどうなったのか。
- ・その後の国連の対応。

#### ステップ3「対立の背景」では、ほぼ全員が次のような意見

- ・領土 ・宗教 ・民族

#### ステップ4「解決方法」では、次のような意見

- ・お互いの宗教や民族について認めあう。
- ・お互いの政権交代。
- ・国連の強制介入。
- ・武器を捨て、武力の行使をやめる。
- ・直ちに和解する。
- ・武力行使で相手を倒す。(最悪の解決法だけ)

以上の中で、最も有効な解決方法については、「力での解決は望まないので話し合いで解決する」というのがほぼ全員の考えでした。どの

#### ステップ3 グループで調べ学習をしよう

- ・パレスチナとイスラエルの対立の背景を調べて、発表する。

#### ステップ4 調べ学習と発表を受けて「対立の原因とその解決方法」をいくつか考える

- ① 対立の原因( ) - その解決方法( )
- ② 各グループの発表後、最も有効な解決方法とその理由を全体で話し合っ

【東京新聞 2002年10月14日】



アメリカとイラクの対立とその解決方法を同じやり方で考えることもできる。

ような手順で話し合いを持てばいいかについては今後の課題として残されました。

#### 「全体のふりかえりのまとめ」としては、次のような感想

- ・新聞を読み直すきっかけになった。
- ・いつもの授業とは違った雰囲気新鮮に感じた。
- ・同じクラスの中だけでさまざまな考えの人がいることがわかった。
- ・関心がなかった世界の出来事に自分との関わりができたように思う。
- ・授業に積極的に、そして楽しく取り組むことができた。
- ・グループの中で新しく友達ができた。
- ・ひとつでない答えを探すのが難しい。

#### 川崎操先生のコメント

ステップ4はかなりむずかしい。ここまで進めるにはステップ3でじっくりと深く取り組む必要があります。子どもの発達段階や「ねらい」の違いに応じてステップ1~4のいずれかで終了してもかまわないと思われます。

毎回、アクティビティをご紹介します。ぜひ、皆さまからの「やってみましたアクティビティ」のご報告をお待ちしています。